

【緑区】令和7年第3回区づくり推進横浜市会議員会議 議事録

開催日時	令和7年9月5日 午後3時30分～3時40分
場 所	緑区役所4階 会議室4AB
出席者	<p>【座長】齊藤達也 議員 【議員：3名】鴨志田啓介 議員、越久田記子 議員（リモートで出席）、 高橋正治 議員、</p> <p>【緑区：21名】佐藤康博 区長、村上一徳 副区長 安達恒介 福祉保健センター長 武規和 福祉保健センター担当部長 得能千秋 緑土木事務所長 高倉徹 担当部長（緑図書館長）ほか関係職員</p>
議題	1 令和6年度 個性ある区づくり推進費 決算 2 令和7年度 個性ある区づくり推進費 執行状況 3 令和8年度 緑区予算編成の考え方
発言の要旨	<p>1 令和6年度 個性ある区づくり推進費 決算 （区長、副区長説明）</p> <p>【5 暮らしの衛生推進事業】 越久田議員：「ペット安心手帳」について、作成単価及び発行部数を教えてほしい。 川崎生活衛生課長：令和6年2月に改訂し、作成単価は1部あたり69円、 発行部数は2,000部です。 越久田議員：改訂の際には、在宅避難に関する内容も盛り込んでほしい。</p> <p>【16 魅力ある公園づくり事業】 齊藤議員：公園愛護会会員の高齢化に伴う活動の省力化支援とは、どのような取り組みを行っているのか。 得能土木所長：草刈り等の負担軽減のため、電動草刈り機の貸出を行っています。</p>

斎藤議員：公園愛護会の高齢化が進んでいるため、暑い夏の作業は難しい。要望として土木事務所による委託の草刈りの回数を増やすなど、維持管理予算の増額を検討してほしい。

得能土木所長：今年度は5件の樹木維持管理委託を発注し、草刈り、樹木剪定、伐採を含め、約150公園に対して約7,000万円をかけて対応しています。草刈りは年1～2回です。公園愛護会は全体の約3分の2にあたる約100公園で草刈りをしていただいている。ただし、高齢化により活動を休止する愛護会も出てきているのが現状で、担い手の確保も含めて対応が必要だと認識しています。緑区としても、みどり環境局に要望を伝えていきます。

高橋議員：省力化もいいことだが、全体的な計画や暑い時のやり方のアドバイスも必要。また、梅田川の上流を見ても繁茂している。街全体の緑の質を高める計画を検討してほしい。

佐藤区長：暑さ対策を踏まえた公園の維持管理の必要性を認識しています。実情として横浜市は、開発で整備を義務付けた経緯があり公園数が全国的に見ても多く、それに伴い予算も必要です。地域の協力を得ながらも、技術的な研究も進め、必要な措置を講じていくことが重要です。現実的な工夫を引き続きご意見いただきながら研究してまいります。

高橋議員：担い手の確保にはすそ野の拡充が重要。またグリーンインフラの観点から計画的に考える、お金をまわすこと必要である。

斎藤議員：公園に隣接する歩道にも雑草が繁茂している。根本的な除去方法など一歩進んだ維持管理を考えてほしい。

【18 みどり地域まちづくり推進事業】

越久田議員：地域のつながり支援事業の具体的な支援内容について教えてほしい。

吉田区政推進課長：鴨居原市民の森愛護会による農作物の収穫活動への支援、及び三保連合自治会が地域活動に使用している建物への支援を行っています。

【20 みどり脱炭素推進事業】

鴨志田議員：廃食油の回収について、脱炭素・GREEN×EXPO推進局と連携し、緑区として積極的にアピールしてほしい。

	<p>吉田区政推進課長：区内主要4駅のうち3駅の最寄りの大型商店にて廃食用油の回収を実施しており、区主催の環境イベント等で周知を図っています。ただし、まだ十分な周知ができていない部分もあるため、今後もこうした機会を通じて積極的に紹介していきたいと考えています。</p> <p>鴨志田議員：緑区として、横浜市ナンバー1を目指して取り組んでほしい。</p> <p>2 令和7年度 個性ある区づくり推進費 執行状況 (副区長説明)</p> <p>【5 暮らしの衛生推進事業】</p> <p>斎藤議員：保護猫活動を行っている団体と区役所との関わりについて、話し合いの機会を設けてほしい。</p> <p>佐藤区長：状況を改めて確認した上で、それぞれの思いを受け止め、可能な支援について検討してまいります。</p> <p>3 令和8年度 緑区予算編成の考え方 (区長説明)</p>
備 考	